

第6回香川県ダム検証に係る検討委員会 議事要旨

日時：平成26年12月15日（月）10:00～12:00

場所：香川県社会福祉総合センター7階 第1中会議室

【議事概要】

- ・事務局からダム検証と河川整備計画変更手続きについて説明を行った。
- ・事務局から綾川ダム群の検証に係る検討について説明を行った。
- ・事務局から第5回委員会における質疑について、湊川水系及び綾川水系の計画規模の考え方、各流域の環境について説明を行った。

○主な意見

（1）ダム検証と河川整備計画変更手続きについて

- ダム検証を行ううえで河川整備計画の変更が必要となった場合は、本委員会を「わがかがわの川懇談会」と兼ね、同時審議することを了承する。

（2）綾川ダム群の検証に係わる検討について

学識経験者

- 近年の洪水実績も踏まえ当初計画のピーク流量に見直しの必要がないという点について、地域住民に理解しやすいよう丁寧に説明を行って欲しい。
- H16年に綾川中流域で氾濫被害があったが、中流域の河道整備状況を踏まえ、今回の河川整備計画に河道整備をどのように反映していくのか整理が必要である。
- 費用対効果の分析では、治水、利水、環境を単独で評価するのではなく、3つの関係をどう見ていくのかというのが大切である。
- 地域住民には、専門用語を分かりやすく説明する必要がある。
- 対策案の比較にあたり、国のマニュアルによる評価軸にウエイトを考慮するなど、県独自の基本的な考えを持っておく必要があるのではないか。
- 費用対効果について、再評価時には純便益、内部収益率も示す必要がある。
- 安全に係わる情報として、分かりやすく、短時間雨量、24時間雨量等についても記述して欲しい。ダムや河川は、地域住民が集い、安全や快適を維持する大事な持ち物としてあって良かったという施設であって欲しい。

関係地方公共団体

- 下流からの河道整備に対し、上流端でのダム整備は最も治水効果があると思う。地域住民にとってダムの安全性に対する関心度が高いようなので詳しく示して欲しい。
- ダムに対する地域住民の関心は大変高い。ダム計画については本委員会で一つの方向性が定められたと思う。また、次回以降の審議事項である河川整備計画の変更についても協力していきたい。

（3）第5回委員会における質疑に対する回答について

- 特になし